

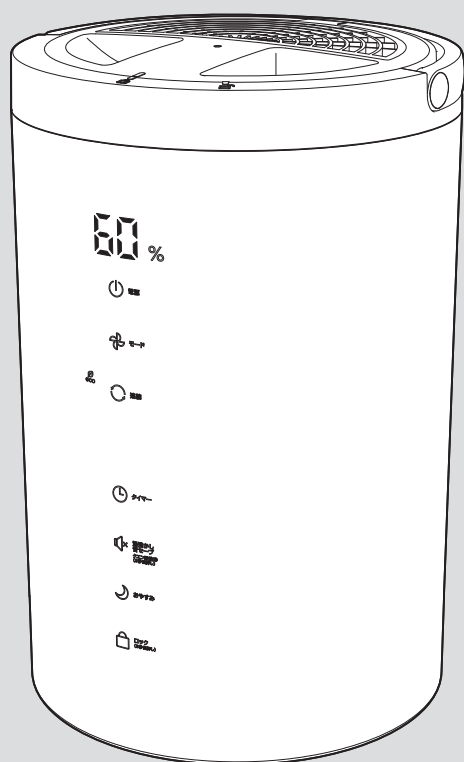
THREEUP

THREEUP

多機能スチーム加湿器 「スチームポット」4L

ST-T2674

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1 ~ 3
パッケージ内容	3
仕様	3
各部のなまえ	4

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	5
設置について	5
内容器に水を入れる	6

ご使用方法

運転する	7 ~ 8
停止する	8
連続運転の加湿量を切り替える	9
自動運転モードを使う	9 ~ 12
オフタイマーを設定する	13
オンタイマーを設定する	14
オフタイマーとオンタイマーを同時に設定する	15
おやすみモードを使う	15
チャイルドロックを設定する	16
内容器の水が少なくなると	16
クエン酸洗浄モードを使う	17

点検・サービス

お手入れと保管方法	18 ~ 19
コンセントの点検	20
故障かな?と思ったら	21
保証・サービス	22

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。

また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	----------------------------------	---	--------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口から給水しないでください。
故障や感電、水漏れの原因になります。

スチームを故意に吸入しないでください。
健康を害する原因になります。



禁止

吹出口や吸気口、すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- ケガや事故の原因になります。
- 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの(殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しないでください。

また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

マグネットプラグにクリップなどの金属を付着させないでください。

感電、故障の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。

電源プラグ、マグネットプラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

MAXライン以上に水を入れないでください。
お湯がふきこぼれたり、水漏れしたりして、やけどや故障の原因になります。



必ず守る

警告

電源コード、電源プラグ、マグネットプラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグとマグネットプラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- マグネットプラグはプラグ受けに確実に取り付けてください。
- マグネットプラグを取り外すときは、コードを引っ張らず、マグネットプラグを持って取り外してください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がある。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

運転中または運転停止直後は、スチームや吹出口の周囲に顔を近づけたり、内容器の水や内容器を触ったりしないでください。

高温になっているため、やけどの原因になります。

運転中または運転停止直後にフタを開けたり、開けたまま運転したりしないでください。やけどの原因になります。



接触禁止

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにスチームが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、ケガや破損の原因になります。

内容器の水が凍結するような場所では使用しないでください。

故障の原因になります。



禁止



禁止

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。

本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所（75%以上）では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。

移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

吹出口をふさがないでください。

過熱による本体の変形、故障の原因になります。

はじめに

⚠ 注意



禁止

常温の水道水以外は使用しないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

ハンドルを立てたまま運転しないでください。

変形、やけどの原因になります。

内容器に水を入れずに空焚きはしないでください。

火災、故障の原因になります。

流し台などに置いて蛇口から内容器に水を入れないでください。

底面の吸気口から内部に水が入ると、故障の原因になります。

水差しなどを使用して水を入れてください。



禁止

お手入れには台所用中性洗剤、クエン酸溶液以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

水を捨てるときは、必ず内容器の矢印刻印を下に向けて捨ててください。

操作部や通気口から内部に水が入ると、故障の原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。



必ず守る

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、内容器に残った水を捨ててください。

- 内容器に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 内容器に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
マグネット式電源コード	1	—	—

仕様

本体サイズ	直径24×高さ37cm	本体重量	約3.4 kg
材質	PC、PP、ステンレス	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	湯沸かし時/830W、 パワフル/550W、eco/280W	運転モード	おまかせ、うるおい、eco、パワフル、 湿度設定40～75% (5%単位)、おやすみ、クエン酸洗浄
加湿量	750 mL/h (パワフル)、 300 mL/h (eco)	タンク容量	約4.0 L
オン・オフタイマー設定	1～9時間 (1時間単位)	連続運転時間	約5時間～約12時間
加湿方式	スチーム式	機能	湯沸かし音セーブ、オン・オフタイマー同時設定、チャイルドロック、メモリー機能
適用床面積 (目安)	19畳 (洋室、プレハブ)、 12畳 (和室、木造)	安全装置	空焚き防止機能、温度ヒューズ、 転倒時自動オフスイッチ
コード長	約1.5 m	—	—

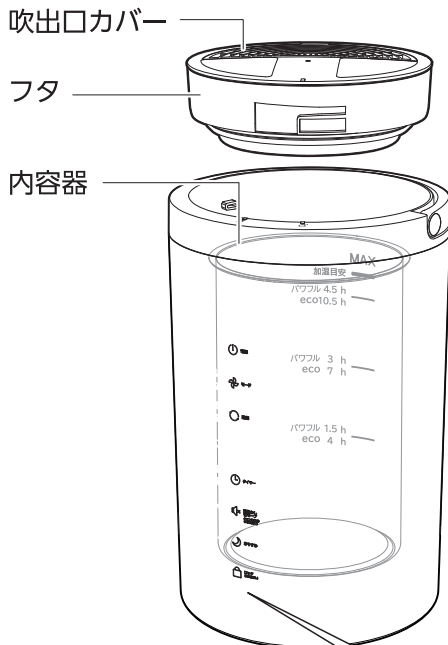
※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 適用床面積 (目安) は使用環境により異なります。

各部のなまえ

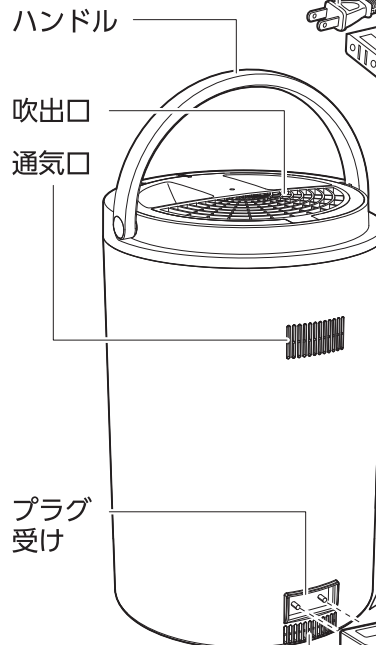
■ 本体

正面

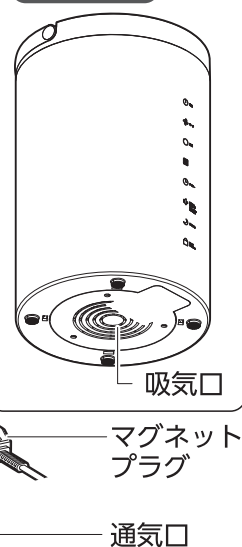


■ 付属品

背面



側面/底面



表示/操作部

給水ランプ



湿度設定ランプ

ディスプレイ

湿度とタイマーの設定時間を表示します。

モードランプ



電源ボタン

連続運転ランプ



モードボタン



連続運転ボタン



設定ボタン

タイマーランプ



タイマーボタン

湯沸かし音セーブランプ



湯沸かし音セーブボタン

おやすみランプ



おやすみボタン

チャイルドロックランプ



チャイルドロックボタン

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ 加湿について

本体内の内容器をヒーターで熱し、水を沸騰させて発生したスチームで加湿します。スチームや吹出口の周囲、内容器の水、内容器は高温になっていますので、絶対に触らないでください。

■ 水漏れについて

床に本体を落下させた場合に亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

■ 内容器の汚れ(スケール、水あか)について

水道水を加熱してスチームを発生させるときにスケール(蒸発残留物:カルシウムなど)や水あかが発生します。水あかは茶褐色、白い斑点、白くざらざらしたものです。汚れは使用に伴い固着していきます。放置すると加湿機能の低下や故障の原因になりますので、必ず定期的にお手入れをしてください。

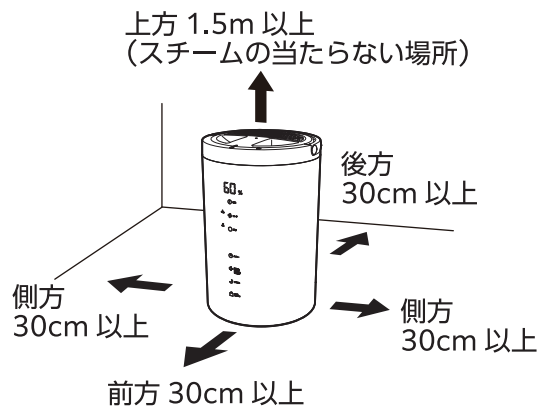
■ 周囲湿度表示について

- 周囲湿度は、本体に内蔵されている湿度センサーが感知する湿度になります。
- 設置場所や使用環境などにより、表示される湿度と部屋の湿度計が異なる場合があります。湿度表示は目安としてご使用ください。

設置について

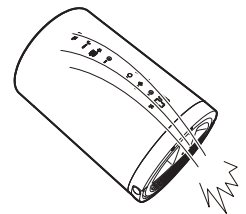
■ 設置条件

- 製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- 斜面や毛足の長い敷物の上など、不安定な場所には設置しないでください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用の場合は、水平な床面にもう一度設置して『電源』ボタンを押してください。



■ 安全装置

空焚き防止機能により、内容器に水が入っていない状態では途中で動作が停止するようになっています。万が一、空焚き防止機能が作動せずに異常な温度上昇が発生した場合は、温度ヒューズが作動して回路を遮断します。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

内容器に水を入れる

⚠ 注意



- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 内容器の水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保ち、定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



- 流し台などに置いて蛇口から内容器に水を入れないでください。
底面の吸気口から内部に水が入ると、故障の原因になります。
水差しなどを使用して水を入れてください。
- 次のような水は内容器に入れないでください。
 - ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
 - ・化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

■ 水の入れかた

① フタを本体から取り外します。

片手で本体を押さえながら、取付マークと解除マークの位置が合うまでフタを反時計回りに回し、持ち上げてください。

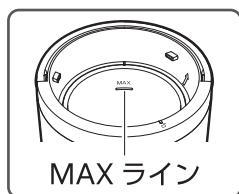
注意

フタを取り付けたままで、吹出口に直接水を入れないでください。
水漏れや故障の原因になります。



② 内容器に常温の水道水を入れます。

ご希望の水位線に合わせて水を入れてください。
水差しなどを使用して水を入れてください。



注意

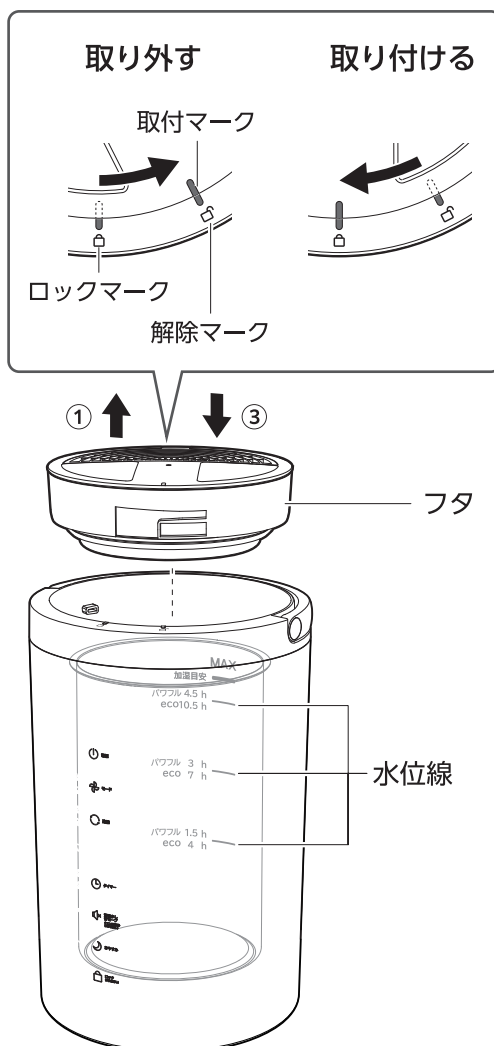
- MAXラインを超えて水を入れないでください。
吹きこぼれてやけどや故障の原因になります。
- 水位線は連続運転時間の目安です。

③ フタを本体に取り付けます。

取付マークと解除マークの位置をあわせてフタを本体に取り付け、片手で本体を押さえながら取付マークとロックマークの位置が合うまでフタを時計回りに回してください。

メモ

フタからカラカラと音がすることがありますが、これは内部の弁の音です。故障ではありません。

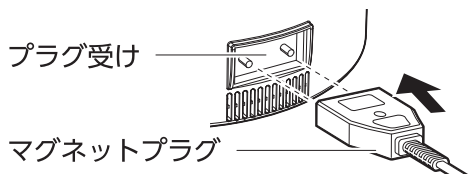


ご使用方法

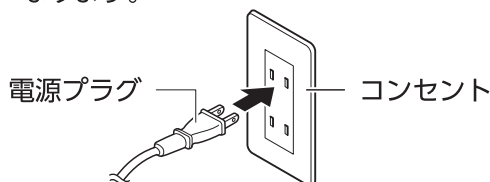
運転する(連続運転)

■ 運転のはじめかた

- ① 本体のプラグ受けにマグネットプラグをまっすぐ取り付けます。



- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴り、待機状態となります。



- ③ 『電源』ボタンを押すとディスプレイに周囲湿度を表示し、『連続運転』ランプ「eco」が点灯し、加熱を開始します。

沸騰近くになると加湿を開始し、約30～35分後に高温のスチームが始めます。

- ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。
- 初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、連続運転/ecoで運転を開始します。

メモ

- 運転時はスチームが取っ手に当たらないように折りたたんで使用してください。
- 運転開始後に“カチッ”と内部スイッチの動作音が鳴ることがあります。異常や故障ではありません。
- スチームが出始めるまでの所要時間は使用環境や水温、水の量により異なります。
- スチームは部屋の温度や湿度によって見えにくい場合があります。
- 周囲湿度の表示は、本体に内蔵されているセンサーが感知する湿度になるため、使用環境により部屋の湿度計とは異なる場合があります。
- 運転中は本体の外側が少し温かくなりますが、異常や故障ではありません。

表示 / 操作部

周囲湿度
を表示

60 %

点灯

eco



- ④ お好みの運転モードに切り替えます。

運転モードの切り替えかたは、各運転説明をご確認ください。

■ 湯沸かし音セーブについて

湯沸かし中の運転音を抑えることができます。

● 湯沸かし音セーブのしかた

加熱開始時に『湯沸かし音セーブ』ボタンを押すと、『湯沸かし音セーブ』ランプが点灯します。
沸騰近くになると『湯沸かし音セーブ』ランプが消灯し、選択している運転モードで動作します。

メモ

- 沸騰近くになると“ピッピッ”と電子音が鳴り、設定できません。
- 湯沸かし音セーブを設定した場合は、約50～60分後に高温のスチームが出始めます。

● 湯沸かし音セーブの解除のしかた

もう一度『湯沸かし音セーブ』ボタンを押すと、“ピーッ”と電子音が鳴り、『湯沸かし音セーブ』ランプが消灯し、解除されます。

操作部

点灯



■ 運転中の表示について

- 運転中はディスプレイに周囲湿度を表示します。

メモ

周囲湿度は本体に内蔵されている湿度センサーが感知する湿度になります。

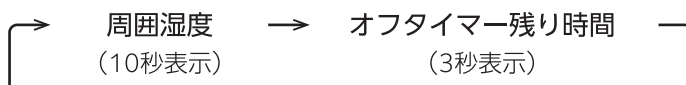
※周囲湿度はスチームが出始めてから約1分毎に感知し、感知する湿度に変化があると表示が変わります。

◎周囲湿度が高い、または低いときのディスプレイ表示

⇒周囲湿度が30%以下の場合、「Lo」と表示します。

⇒周囲湿度が80%以上の場合は、「Hi」と表示します。

- オフタイマーを設定した場合は、周囲湿度とオフタイマーの残り時間を繰り返し表示します。



- 運転ランプの点灯/点滅と消灯は、設定や状態にあわせて切り替わります。詳細は各運転モードの説明をご確認ください。

停止する

■ 運転の止めかた

運転中に『電源』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴り、ディスプレイ表示と全てのランプが消灯して運転を停止します。

運転停止後は余熱によりしばらくスチームが出ます。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。
(オフタイマー設定と湯沸かし音セーブ設定、クエン酸洗浄モードは除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

⚠ 注意



必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、内容器の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押して運転を停止してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

ご使用方法

連続運転の加湿量を切り替える

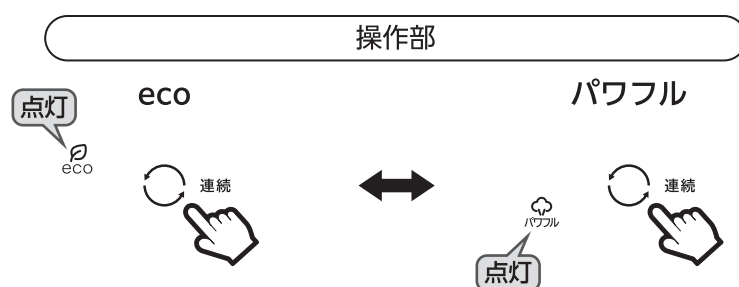
■ 連続運転の加湿量について

eco	加湿量「弱」で運転します。
パワフル	加湿量「強」で運転します。

■ 加湿量の切り替えかた

連続運転中に『連続運転』ボタンを押します。

『連続運転』ボタンを押すたびに加湿量が切り替わり、設定にあわせて点灯する『連続運転』ランプも切り替わります。



自動運転モードを使う

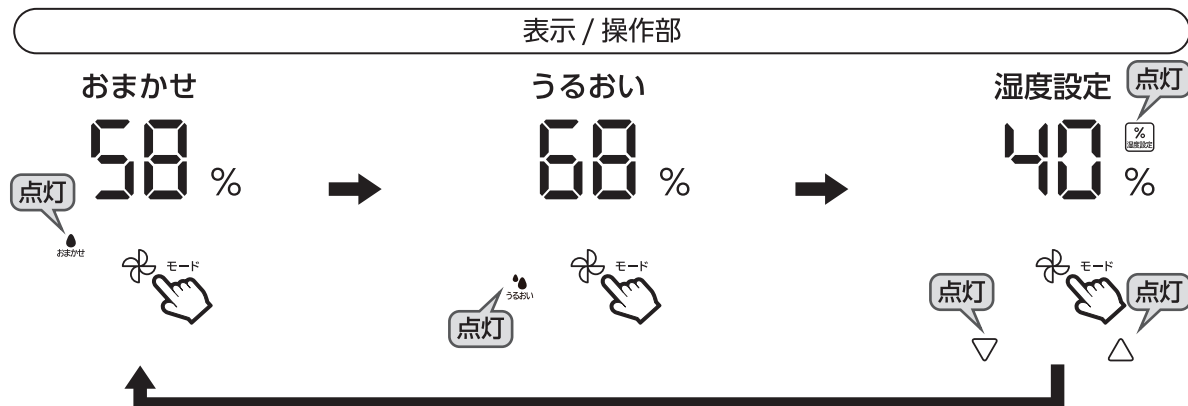
■ 自動運転モード一覧

おまかせ	周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。
うるおい	周囲湿度が70%以上になると自動で運転を停止し、湿度が下がると自動で運転を再開します。
湿度設定	40% ~ 75%の範囲で5%ごとに湿度を設定できます。周囲湿度が設定した湿度に達すると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると自動で運転を再開し、設定した湿度を保持します。

メモ 運転中に“カチッ”と内部スイッチの動作音が鳴ることがあります。異常や故障ではありません。

■ 自動運転モードの切り替えかたと切り替わり順

運転中に『モード』ボタンを押します。『モード』ボタンを押すたびに自動運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯するランプ/ボタンも切り替わります。



■ おまかせ運転について

周囲湿度が60%以上になると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると自動で運転を再開します。

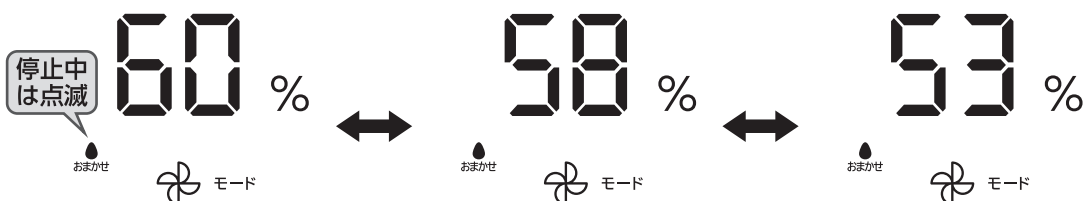
周囲湿度	加湿量	『モード』ランプ
60%以上	停止	点滅
54 ~ 59%	弱	点灯
53%以下	強	

表示 / 操作部

周囲湿度が60%以上
になると自動で運転
停止

54 ~ 59% :
加湿量「弱」で運転

53%以下 :
加湿量「強」で運転



■ うるおい運転について

周囲湿度が70%以上になると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると自動で運転を再開します。

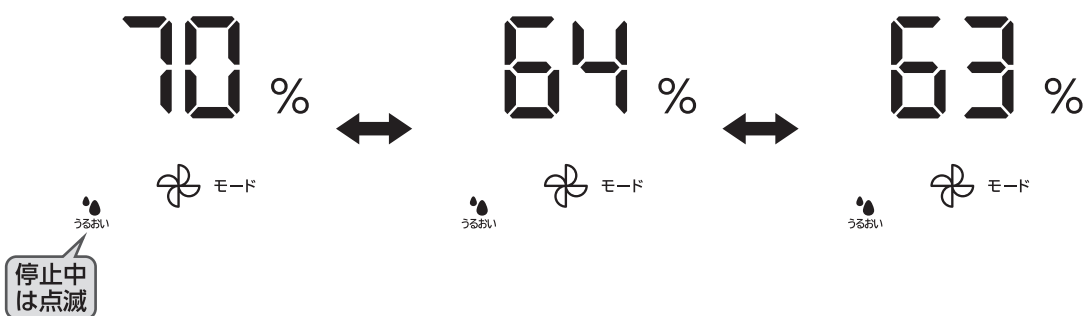
周囲湿度	加湿量	『モード』ランプ
70%以上	停止	点滅
64 ~ 69%	弱	点灯
63%以下	強	

表示 / 操作部

周囲湿度が70%以上
になると自動で運転
停止

64 ~ 69% :
加湿量「弱」で運転

63%以下 :
加湿量「強」で運転



ご使用方法

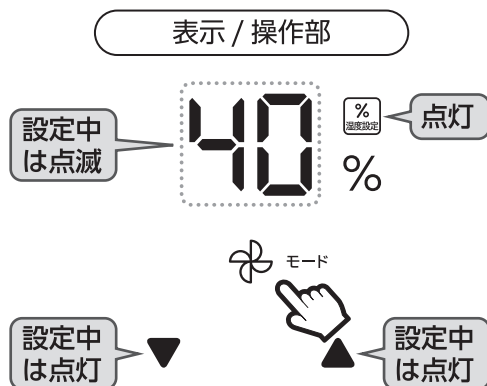
■ 湿度設定運転について

40% ~ 75%の範囲で5%ごとに湿度を設定できます。周囲湿度が設定した湿度に達すると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると自動で運転を再開し、設定した湿度を保持します。

■ 湿度設定のしかた

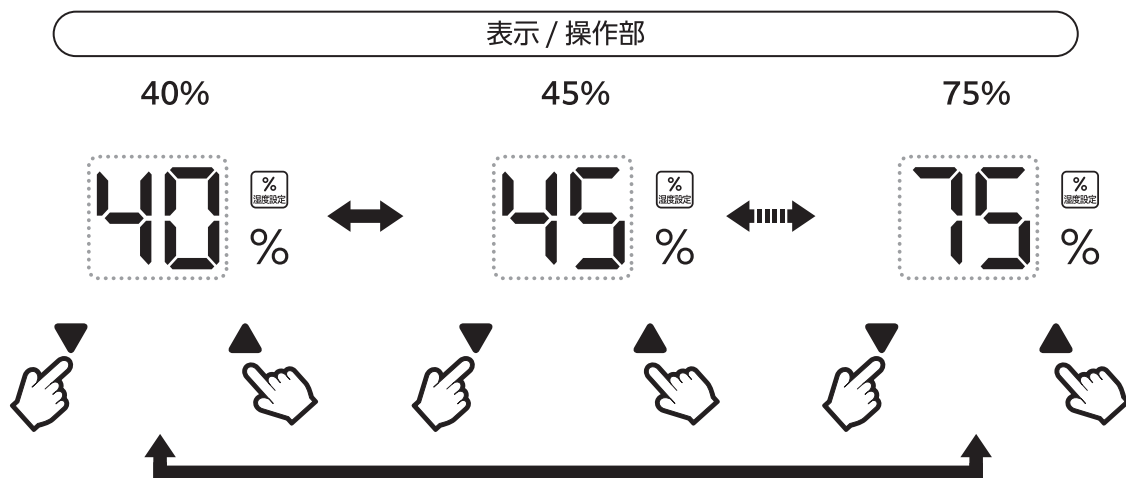
- ① 運転中に『モード』ボタンを押して「湿度設定」を選択します。
『湿度設定』ランプと『設定』ボタン「▲」および「▼」が点灯し、ディスプレイが設定表示に切り替わり点滅します。

初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの湿度設定は40%になります。



- ② ディスプレイの点滅表示中に、『設定』ボタンを押して湿度を設定します。
『設定』ボタンは「▲」を押すたびに5%単位で湿度が高くなり、「▼」を押すたびに5%単位で湿度が低くなります。

ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
点滅中に他のボタンを押しても反応しません。



- ③ 湿度を設定したあと、ディスプレイ表示が点滅から点灯に切り替わり周囲湿度が表示されると、設定完了となります。

メモ

設定湿度が周囲湿度よりも低いときは、
『湿度設定』ランプが点滅し、運転が停止します。
設定湿度が周囲湿度よりも高いときは、
P.12「湿度設定運転の動作内容」にあわせて運転します。



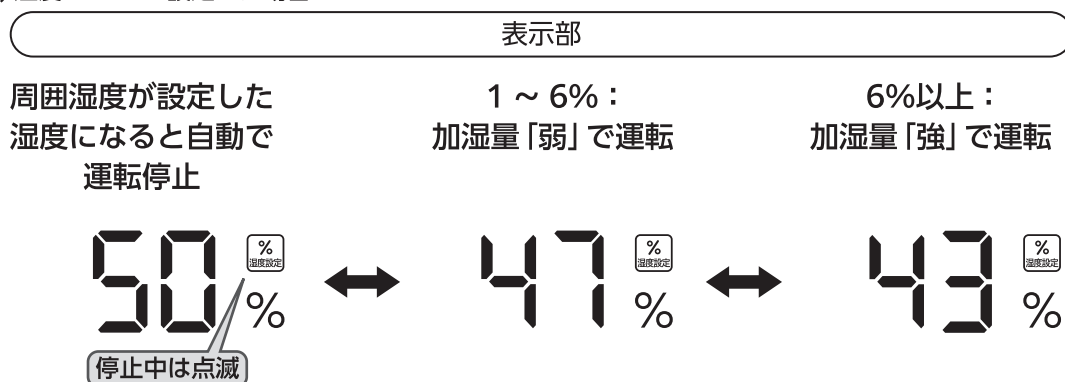
- ④ 設定完了後に設定湿度を変更したい場合は、周囲湿度の表示中に『設定』ボタンを押すと、ディスプレイが点滅表示となり変更することができます。
ディスプレイの点滅表示中に②～③に従って湿度を設定してください。

■ 湿度設定運転の動作内容

設定湿度と周囲湿度の差にあわせて、次のように加湿量が自動で切り替わります。

設定湿度と周囲湿度の差	加湿量	『湿度設定』ランプ
設定湿度 ≤ 周囲湿度	停止	点滅
1 ～ 6%	弱	点灯
6%以上	強	

◎(例) 湿度を50%に設定した場合



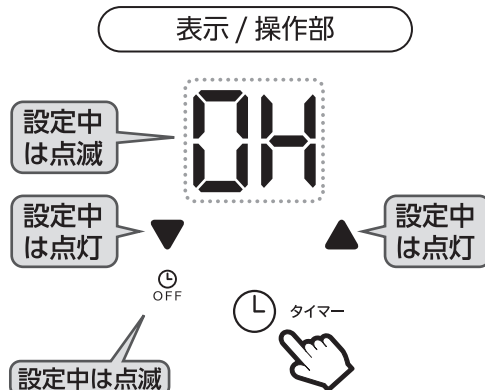
ご使用方法

オフタイマーを設定する

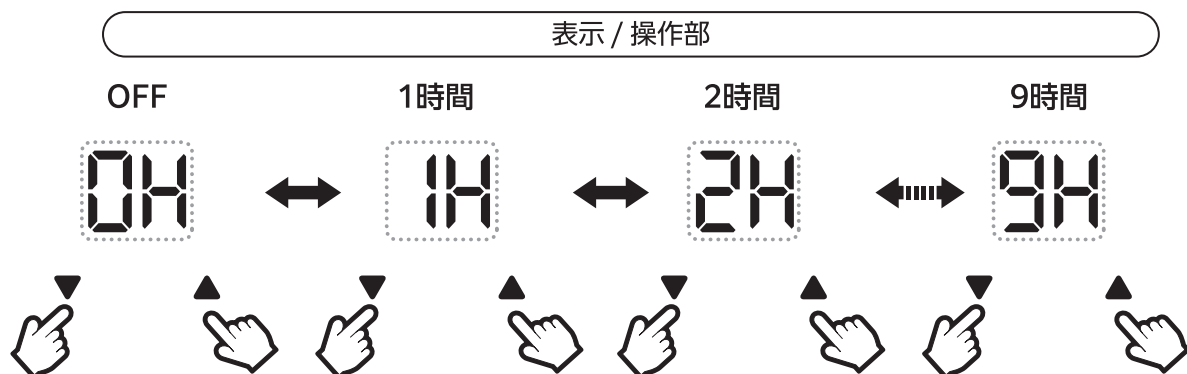
1～9時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に『タイマー』ボタンを押します。
『タイマー』ランプ「OFF」が点滅、『設定』ボタン「▲」および「▼」が点灯します。ディスプレイがオフタイマー設定表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅表示中に、『設定』ボタンを押して停止時間を設定します。『設定』ボタンは「▲」を押すたびに1時間単位で時間が増え、「▼」を押すたびに1時間単位で時間が減ります。ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。

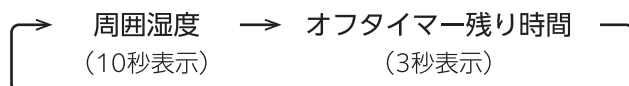


- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイと『タイマー』ランプ「OFF」が点滅から点灯に切り替わると設定完了となります。

オフタイマーの設定中は、『タイマー』ランプ「OFF」が点灯します。

■ オフタイマー設定中のディスプレイ表示

オフタイマー設定中は、周囲湿度とオフタイマーの残り時間を繰り返し表示します。



■ オフタイマーの解除のしかた

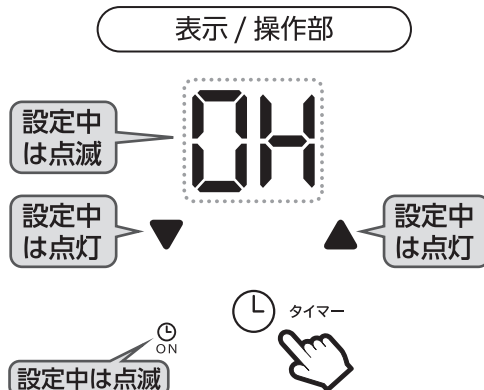
オフタイマーを解除するときは、『タイマー』ボタンを押したあとディスプレイの点滅表示中に「0H」になるまで『設定』ボタン「▲」または「▼」を繰り返し押して点滅から点灯に切り替えるか、『タイマー』ボタンを約3秒間長押ししてください。
ディスプレイの表示が周囲湿度表示に切り替わり、『タイマー』ランプ「OFF」が消灯して解除されます。

オンタイマーを設定する

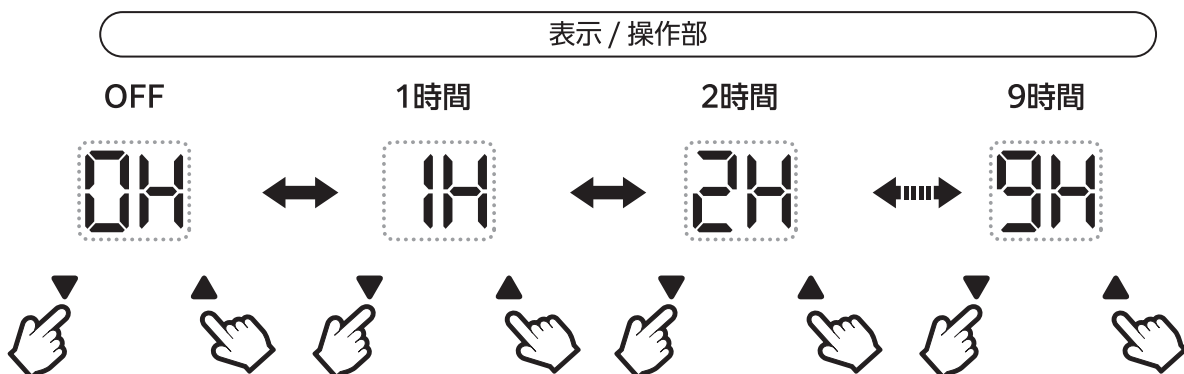
1～9時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に『タイマー』ボタンを押します。
『タイマー』ランプ「ON」が点滅、『設定』ボタン「▲」および「▼」が点灯します。ディスプレイがオンタイマー設定表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅表示中に、『設定』ボタンを押して開始時間を設定します。『設定』ボタンは「▲」を押すたびに1時間単位で時間が増え、「▼」を押すたびに1時間単位で時間が減ります。ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイと『タイマー』ランプ「ON」が点滅から点灯に切り替わりと設定完了となります。

オンタイマーの作動中は、『タイマー』ランプ「ON」が点灯します。

- ④ 設定した時間が経過すると、記憶された運転モードで運転を開始します。

メモ オンタイマーの設定後に『モード』ボタンまたは『連続運転』ボタンを押すと、運転開始時の運転モードを変更することができます。『湯沸かし音セーブ』ボタンを押すと、運転開始時の運転モードに追加することができます。選択した運転ランプは約3秒後に消灯します。

■ オンタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オンタイマーの設定中は、『タイマー』ランプ「ON」だけが点灯します。運転開始までに残り時間を確認したいときは、『タイマー』ボタンを押すと残り時間が約5秒間点滅表示します。『設定』ボタン「▲」および「▼」も約5秒間点灯表示します。

■ オンタイマーの解除のしかた

オンタイマーを解除するときは、『タイマー』ボタンを押してディスプレイの点滅表示中に「0H」になるまで『設定』ボタン「▲」または「▼」を繰り返し押して点滅から点灯に切り替えるか、『電源』ボタンを押してください。『タイマー』ランプ「ON」が消灯して解除されます。

メモ オンタイマーの設定完了後に『電源』ボタンを押すと運転を開始して、オンタイマーの設定はリセットされます。

ご使用方法

オフタイマーとオンタイマーを同時に設定する

オフタイマーで運転停止したあと、オンタイマーで設定した時間が経過すると運転を再開します。

■ オフタイマーとオンタイマーの同時設定のしかた

- ① 運転中にオフタイマーを設定します。
- ② オフタイマーの設定後に『タイマー』ボタンを2回押してオンタイマーを設定します。
同時設定後は『タイマー』ランプ「OFF」と「ON」が点灯します。

■ オフタイマーとオンタイマーの解除のしかた

◎オフタイマーを解除する場合

P.13「オフタイマーの解除のしかた」に従って、オフタイマーを解除してください。
オンタイマーの解除前にオフタイマーを解除すると、オンタイマーも解除されます。

◎オンタイマーを解除する場合

オフタイマーを解除するか、『タイマー』ボタンを2回押してディスプレイをオンタイマーの設定表示に切り替え、点滅表示中に設定時間を「0H」に設定してください。

◎オフタイマーとオンタイマーを同時に解除する場合

『タイマー』ボタンを約3秒間長押しするか、『電源』ボタンを押して運転を停止してください。

おやすみモードを使う

『おやすみ』ランプ以外のランプとディスプレイを消灯し、加湿量「弱」で運転します。
約8時間後に自動で運転を停止します。

■ おやすみモードの設定のしかた

運転中に『おやすみ』ボタンを押すと、『おやすみ』ランプが点灯し加湿量「弱」運転に自動で切り替わります。約5秒後に『おやすみ』ランプが減灯し、その他のランプとディスプレイが消灯します。

- おやすみモードで運転中は、ボタン操作時や水がなくなったときの電子音が鳴りません。
- おやすみモードで運転中も、『タイマー』ボタンでオフタイマー設定やチャイルドロックの設定ができます。
オフタイマーを設定した場合は設定した時間に運転を停止します。

操作部

消灯

(おやすみモードで運転)



■ おやすみモードの解除のしかた

- ① おやすみモードで運転中にいずれかのボタンを押すと、ディスプレイと現在動作中のランプが点灯します。
- ② ディスプレイとランプ点灯中に『モード』ボタンや『連続運転』ボタンを押すか、『電源』ボタンを押してください。『おやすみ』ランプが消灯して解除されます。
 - 『モード』ボタンや『連続運転』ボタンを押すと、選択した運転に切り替わります。
 - 『電源』ボタンを押すと運転を停止します。

チャイルドロックを設定する

■ チャイルドロックの設定のしかた

『チャイルドロック』ボタンを約3秒間長押しします。

“ピッ”と電子音が鳴って『チャイルドロック』ランプが点灯し、チャイルドロックが設定されます。

運転中にチャイルドロックを設定した場合、『電源』ボタンを押すと運転を停止しますが、もう一度『電源』ボタンを押しても運転を再開しません。

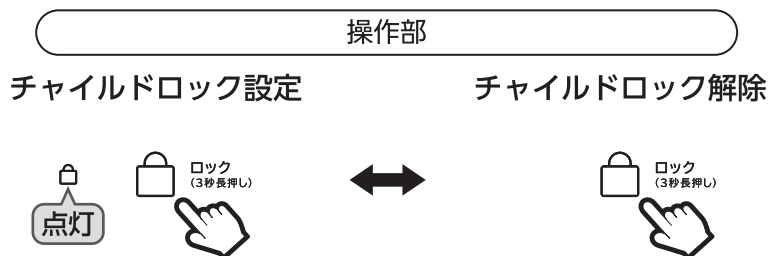
運転を再開する場合は、チャイルドロックの解除後に『電源』ボタンを押してください。

- チャイルドロック中にボタンを押すと、電子音が鳴り操作できません。

■ チャイルドロックの解除のしかた

『チャイルドロック』ボタンを約3秒間長押しします。

“ピーッ”と電子音が鳴って『チャイルドロック』ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。



内容器の水が少なくなると

■ 給水のお知らせ

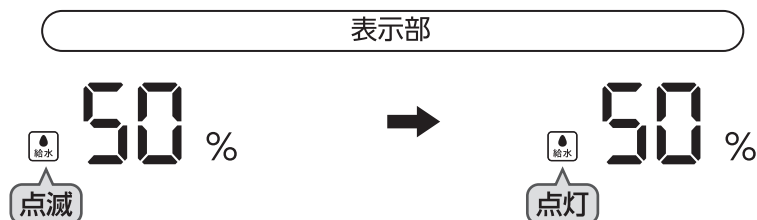
- 内容器の水が少なくなると“ピーッピーッピーッ...”と電子音が5回鳴って、『給水』ランプが点滅し、自動で運転を停止します。

『給水』ランプの点滅中は、『チャイルドロック』ボタン以外は操作できません。

- 『給水』ランプは点滅してから約2～4分後に点灯に変わります。

引き続きご使用になる場合は、『給水』ランプが点灯に変わったあと、必ず電源を切ってから内容器に給水してください。

給水後に『電源』ボタンを押すと運転を再開します。



注意 運転停止直後は内容器が高温になっているため、触らないでください。

警告



必ず守る

給水時は必ず電源プラグをコンセントから、マグネットプラグをプラグ受けから抜いてください。
プラグ受けに水がかからないように注意してください。
感電やケガの原因になります。

ご使用方法

クエン酸洗浄モードを使う

クエン酸(別売)を使用して内容器の汚れを落とします。

■ クエン酸洗浄のしかた

- ① フタを本体から取り外します。
- ② 内容器の底にクエン酸40g(小さじ8杯程度)を置いたあと、内容器のMAXラインまで水を入れます。

注意

- ・クエン酸は必ず40g以下にしてください。
- ・クエン酸は付属しておりません。市販品をお買い求めください。

- ③ フタを本体に取り付けます。
- ④ マグネットプラグを本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込んだあとに『電源』ボタンを押します。

操作部



- ⑤ 『湯沸かし音セーブ』ボタンを3秒間長押しして洗浄モードを開始します。

洗浄モード中は『湯沸かし音セーブ』ランプが点滅します。
同時にディスプレイ表示が「ー」に切り替わり、点滅します。

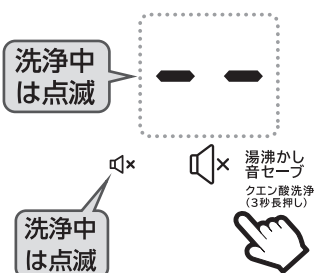
注意

洗浄モード中は『電源』ボタンと『チャイルドロック』ボタン以外のボタン操作ができません。

メモ

洗浄中に内容器の水が少なくなった場合は、ディスプレイと『湯沸かし音セーブ』ランプが消灯し、『給水』ランプが点滅します。給水したあとに④からやり直してください。

表示 / 操作部



- ⑥ 1時間30分後に自動で洗浄モードを停止します。
洗浄モードの停止後は、『湯沸かし音セーブ』ランプとディスプレイ表示「ー」が点滅から点灯に切り替わります。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグを本体から取り外します。
- ⑧ フタを取り外して内容器に残った水を捨て、水道水ですすぎます。

注意

必ず水を捨ててからお手入れをしてください。
洗浄モード停止直後の内容器の水は熱湯になっているため、十分に冷ましてから水を捨ててください。

- ⑨ フタを本体に取り付けます。

汚れが落ちにくいときは、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

内容器の汚れ(スケール、水あか)について

水道水を加熱してスチームを発生させるときにスケール(蒸発残留物:カルシウムなど)や水あかが発生します。水あかは茶褐色、白い斑点、白くざらざらしたものです。汚れは使用に伴い固着していきます。放置すると加湿機能の低下や故障の原因になりますので、必ず定期的にお手入れをしてください。

お手入れと保管方法

⚠ 警告



必ず守る

- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから、マグネットプラグをプラグ受けから抜いてください。
プラグ受けに水がかからないように注意してください。
感電やケガの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてから行ってください。
やけどの原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

- 長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、内容器に残った水を捨ててください。
- 内容器に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
 - 内容器に水が入ったままでは保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

各部のお手入れは1週間に2回以上行ってください。

■ 水の捨てかた

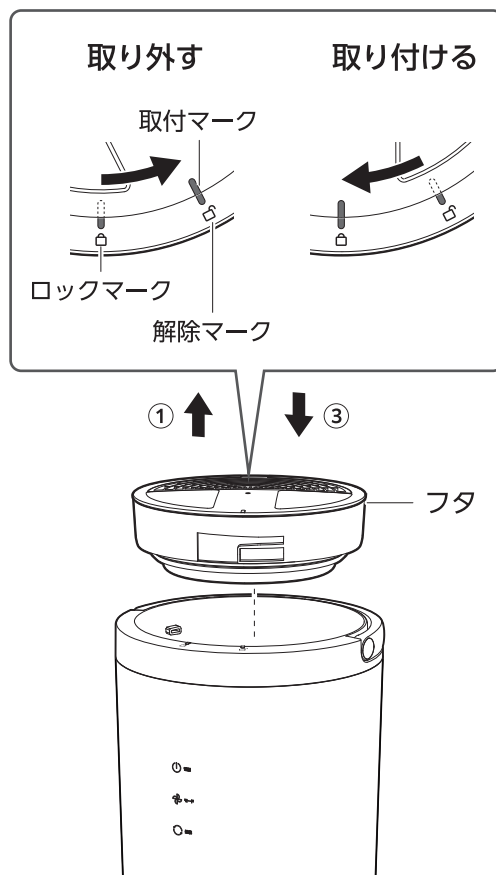
- ① フタを本体から取り外します。
片手で本体を押さえながら、取付マークと解除マークの位置が合うまでフタを反時計回りに回し、持ち上げてください。
- ② 内容器に残った水を捨てます。



注意

水を捨てる際は、矢印刻印を下に向けて捨ててください。

- ③ フタを本体に取り付けます。
取付マークと解除マークの位置をあわせてフタを本体に取り付け、片手で本体を押さえながら取付マークとロックマークの位置が合うまでフタを時計回りに回してください。

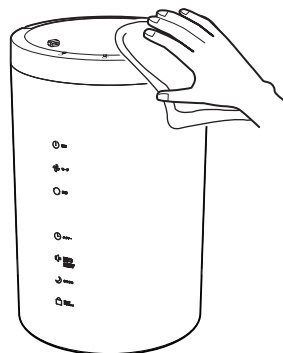


■ 本体外側のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは、本体が乾いてからご使用ください。

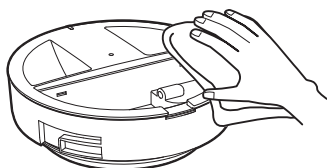


■ 内容器のお手入れ

- 内容器は歯ブラシなどの柔らかいものでこすって汚れを落としてください。
※金属ブラシなどの硬いものでこすらないでください。
- 汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄モードを使ってお手入れしてください。
詳細はP.17「クエン酸洗浄モードを使う」をご確認ください。

■ フタと吹出口カバーのお手入れ

- フタは吹出口カバーを取り外して、本体と同様のお手入れをしてください。
- 吹出口カバーは水洗いをしたあと、軽く振ってよく水をきって乾燥させてください。

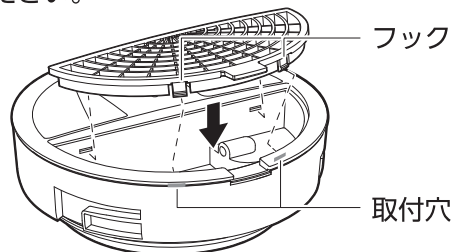
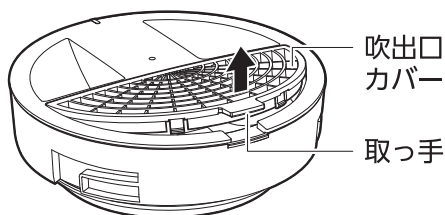


● 吹出口カバーの取り外しかた

吹出口カバーの取っ手を持ち上げて、フタから取り外してください。

● 吹出口カバーの取り付けかた

先に取っ手と反対側のフックを取付穴に引っ掛けてから、取っ手側を押し込んでください。



■ 保管方法

- 内容器の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。
湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

コンセントの点検

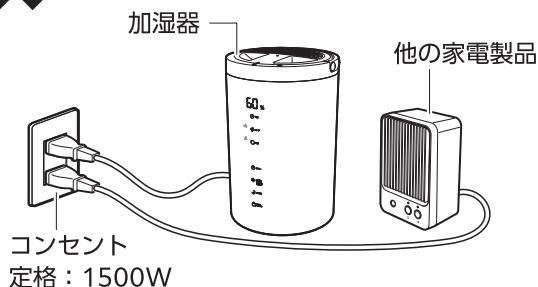
●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

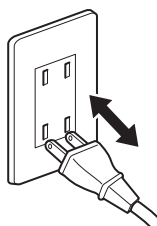
誤った使いかたの例



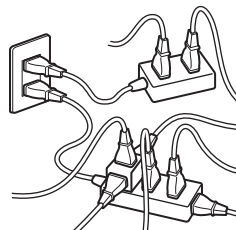
定格容量いっぱいで使用する



電源プラグを斜めに抜き差しする



タコ足配線する



●下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが触れられないほど熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。

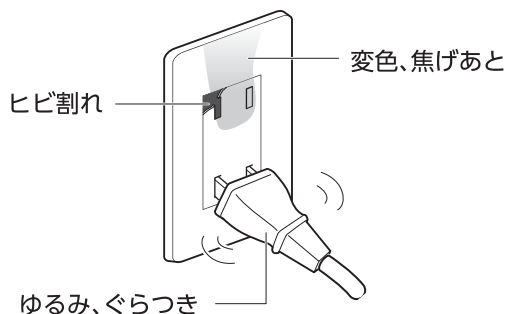


注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因になります。



長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが触れられないほど熱い。
(別のコンセントに差し直しても熱い)
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、
下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグまたはマグネットプラグが外れているか、ななめになって正しく接続できていない。	電源プラグとマグネットプラグの接続を確認してください。
スチームが出ない	- 運転開始直後である。 - おまかせ/うるおい/湿度設定モード運転時に周囲湿度が設定湿度を超えている。	- ヒーター部で水を沸騰させてスチームが発生するまで、約30～60分間かかります。 ※使用環境により所要時間は異なります。 - おまかせ/うるおい/湿度設定モード運転時は、設定湿度より周囲湿度が高くなると、『モード』ランプが点滅して自動で運転を停止します。 連続運転に切り替えるか、湿度設定モード運転の場合は設定湿度を高く変更してください。
運転が停止した	- 内容器の水がなくなった。 - オフタイマーで設定した時間が経過した。またはおやすみモード運転で約8時間が経過した。	『給水』ランプが点滅から点灯に切り替わってから、内容器に給水してください。 - 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。
異臭がする	内容器が汚れている。	定期的にお手入れをしてください。
湿度が上がらない	- 適用床面積を超えた部屋で使用している。 - 部屋の窓やドアが開いている。	- 適用床面積内でご使用ください。 - 窓やドアを閉めてお使いください。
内容器の周囲に汚れが付着する	スケールや水あか(茶褐色、白い斑点、白くざらざらしたもの)が付着している。	定期的にお手入れをしてください。 汚れがひどい場合は、「クエン酸洗浄モードを使う」に従ってお手入れをしてください。
ボタン操作ができない	- チャイルドロックが設定されている。 『給水』ランプが点滅している。	- チャイルドロックの設定を解除してください。 『給水』ランプの点滅中は『チャイルドロック』ボタン以外は操作できません。『給水』ランプが点灯に切り替わると『電源』ボタンが操作できます。
『湯沸かし音セーブ』ボタンが効かない	内容器の水が沸騰近くまで温度が高くなっている。	スチームが出始めるくらい温度が高くなると、湯沸かし音セーブの機能は作動しません。故障や異常ではありません。
吹出口から湯が吹き出してくる	内容器の給水量がMAXラインを超えている。	内容器の給水量を確認してください。MAXラインを超えている場合は水を減らしてください。
運搬時に本体からカラカラと音がする	フタの内部の弁が動いている。	内部の弁は構造上固定されていないため、フタを動かすと音が鳴りますが、異常や故障ではありません。
低い湿度が表示される	内容器の水が少なくなった。	内容器の水が少なくなると『給水』ランプが点滅し、周囲湿度表示が低く表示されることがあります。 内容器に給水して1時間程度運転してから再確認してください。
ディスプレイに「E●」と表示された	製品内部が故障している。	直ちに使用を中止して、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。